



「奈良の蚊帳織り」は奈良県の伝統産業です。
伝統ある蚊帳織りの技術を後世へ継承するために
確かな技術をもった企業が作ったブランド。
蚊帳織りの商品は、吸水性や速乾性に優れた
このマークが付いたものをご購入ください。

商品の取り扱い・製品開発のご相談は下記まで
お気軽にお問い合わせください。



蚊帳のタオル



奈良県織物工業協同組合
<https://www.apparel-nara.com/orimono/>



上島織布工場
<https://www.uejima.nara.jp/>



笹田織物株式会社
<https://www.sasaori.jp/>



株式会社三広織布
<https://www.sanko-orifu.jp/>



日本テキスタイル株式会社
<http://www.0353.jp/>



野村工業株式会社
<https://www.apparel-nara.com/orimono/company/nomura.html>



丸山繊維産業株式会社
<https://www.maruyama-seni.co.jp/>



プリントふきん

広がる蚊帳織り技術の用途



壁紙



ラッピング生地



ストール



奈良の蚊帳織り
NARA-NO-KAYAORI

歴史を繋ぎ未来へ紡ぐ
世界に誇る奈良の蚊帳織り





奈良の蚊帳織り
NARA-NO-KAYAORI

伝統技術をブランドに

奈良県織物工業協同組合では「奈良の蚊帳織り」の商標登録をお願いいたしました。

奈良県における織物業の発展を目的として昭和22年2月に設立した当組合には、明治時代より蚊帳に使用する目の粗い生地を織る技術を継承し、研鑽に努めてきた企業が加入しております。主に粗密度（経糸、緯糸の打ち込み本数がそれぞれ10～25本/時程度）の生地を得意としています。

今回、グローバル化の波が押し寄せ競争が激しくなっている中、奈良県の伝統ある蚊帳織りの技術を守りつつ後世へ継承していくため、「奈良の蚊帳織り」ブランドを立ち上げました。

「奈良の蚊帳織り」では、確かな技術をもった企業の商品を証明するためのブランドとなっており、ロゴマークが使用されている商品は市場の廉価品・粗悪品と比較して、吸水性や速乾性に優れ、本来の素晴らしさを利用者の方々に認知してもらうことを目的としています。

国内生産量No.1

奈良の蚊帳生地の生産量は、国内No.1を誇ります。

蚊帳生地の用途として最もシェアが大きいものが「蚊帳織りふきん」です。蚊帳織りふきんで使用される生地の大部分は、奈良県織物工業協同組合に所属している会社が生産出荷しています。奈良県下のふきんの年間生産枚数は組合推定で400万枚（5枚重ね）。生地になると500万m相当になります。

蚊帳織物に関わる全部整経、部分整経、アラ巻整経、サイジング、ワインダー、織機（普通織機、エアージェット、レピア、プロジェクトル）、オーバーマイヤー、テンター等、豊富な設備を持ち、原糸の特徴を活かした生活に役立つ、高品質な織り目の粗い生地製造を得意としています。

蚊帳生地の製造に伴い、糊付け加工技術の高度化と共に染色も多様化し、オーバーマイヤーによる後晒しやディッピング染色もできるようになりました。



優れた吸水性と速乾性

蚊帳生地の特性は、他の生地比べて吸水性と速乾性に優れている点にあります。この特徴をベースにデザイン性、機能性を追加してふきん等の生活関連商品の開発が行われ、さらに様々な工業用品へと展開されています。

吸水性と速乾性の実験結果

